

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	02-01-03-08	
事務事業名	自立支援給付事業			
	平成19年度	根拠法令・要綱等	障害者自立支援法	
事業開始年度	平成19年度			
総合計画	大項目 基本目標	健康でやさしさあふれるまちづくり	担当課(室)	社会福祉課
	中項目 基本施策	やさしさあふれるまちづくり	職・氏名	障害者福祉係長 山本光男
	小項目 施策	障害者(児)福祉	電話	64-1824

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	障害児・者(身体・知的・精神)
目的(何のために)	やむを得ず地域での生活が困難になり、入所施設等での生活を行う者に対し支援を行う。在宅生活の障害者にヘルパーを派遣し、在宅生活の支援を行う。
行政活動(どのような方法で)	障害者等からの申請により、心身の状況をアセスメントし決定を行う。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	障害者自身の地域生活を支援するだけでなく、介護者の生活も容易にし、更には社会参加と自立を支援する。

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	福祉サービス利用者数	人	-	-	124
	直接事業費	千円	-	-	246,295
	人件費	千円	-	-	2,675
	事業費計		0	0	248,970
	国県支出金	千円	-	-	184,721
	受益者負担	千円	-	-	-
	市費	千円	-	-	-
	一般財源		0	0	64,249
	必要人員	人	-	-	0.36

結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	福祉サービス利用者数	説明	福祉サービスを利用している人数		
	結果指標量	人	-	-	124
	対前年比	%	-	-	-
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	活動コスト	円	-	-	248,970,000
	単位当たりコスト	円	-	-	2,007,823
	対前年比	%	-	-	-

事業の成果			
成果指標名	福祉サービス利用者数	式又は説明	福祉サービスを利用している人数
成果指標量	17年度	18年度	19年度
	-	-	124
対前年比	-	-	-
到達目標値	申請に基づく事業のため、目標値設定は困難	到達目標年度	-

事業の目的、対象、内容を考えているが目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
妥当性の評価	目的	<input checked="" type="checkbox"/> 関法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	妥当性評価<A-E> <b>A</b>
	行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない <input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	課題認識
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要はない	法令に基づき認定されるため、目的、対象、内容については妥当である。
	市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	効率性評価<A-E> <b>B</b>
	手段	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	法律等で支給額及び事務処理手順は定められている。
	職場	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A-E> <b>B</b>
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	支給要件に該当する者の申請漏れがないように周知をする必要がある。

平成20年度の状況		説明	法令に基づき認定されるため、目的、対象、内容については妥当であり、今後も継続して実施する。
<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
目標値	結果指標量 130	結果指標量	-
	成果指標量		-

総合評価		評価区分<A-E>	<b>B</b>
障害者サービスの基本となるものであり、ニーズも多く有用な事業である。			

平成21年度以降の方向性		<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了
--------------	--	---	--

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果